Vol.2013-MUS-100 No.40
2013/9/2

ヤマハのシンセシスの歴史

国本 利文[1]

概要：ヤマハは 1959 年エレクトーンと言う商品名で電子オルガン市場に参入、その後も様々なオルガン、シンセサイザーなどの電子楽器を開発・製造・販売して来た。本講演では初代エレクトーン D1 から初めてその後の GX1、シンセサイザー DX7、VL1 などで採用された様々な音源方式を概観し、電子楽器の歴史を振り返る。楽器はその時代のテクノロジーを使って「できるだけ簡単に豊かな自己表現ができる」方向に進化して来たと言え、その方向性の上に将来の楽器も見えると思われる。

[1] ヤマハ株式会社
Yamaha Corporation

© 2013 Information Processing Society of Japan